



なこく おかれきしりょうかん てんじしつ かすがし み とき てんじ
奴国の丘歴史資料館の展示室には、春日市で見つかったたくさんの土器が展示されているよ！



よくみるとパズルみたいに線が入っているものもあるね。
われてしまったのかな？



み とき てんじしつ
見つかった土器が展示室に並ぶまでにどんなことを
しているか、資料館のおしごとをのぞいてみよう！



はっけん てんじしつ
発見から展示室にならぶまで

① 発見

つち ちゅうさく
土の重さでつぶれてしまっていることが多いよ。
ぜんぶ
全部のかけらがそろわないこともあるんだ！



② 取り上げる

これ以上割れないようにしんちように取り上げ
たら資料館に運ぶよ！



③ あらう

土器についたドロや土を、筆やブラシを使って、ていねいに洗うよ！



④ 情報を書く

でてきた遺跡の情報などを、細い筆を使って、
小さな字で書きこむよ！



⑤ 組み上げる

ピッタリくっつけかけらを選びながら
しんちように組み上げるよ！



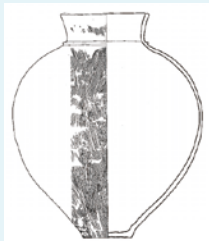
⑥ おぎなう

土器のかけらが足りず、完成しないときは、
足りない場所を補修剤でうめるんだ！



⑦ 調べる

形や大きさ、表面にかいてある模様までじっくり
観察してまとめるよ！



⑧ 展示する・保管する

一部の土器は資料館で展示するよ！展示しないものは収蔵庫で大切に保管するんだ！



すごく大変そうだね.....

しりょうかん はっくつ ひと く あ ひと しら ひと
資料館では「発掘する人」「組み上げる人」「調べる人」など、
たくさんの人が役割分担しながらしごとをしているよ！

